

令和6年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第7回議事録（要旨）

日 時：12月17日（火）午後6：15～8：30

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員8名

（中里委員長、横山副委員長、牛田委員、田村委員、菊竹委員、北山委員、高橋（智）委員、島津委員）

事務局 3名

1 開会

2 議題

（1）平和の日イベントの振り返り【資料1－1、1－2、1－3】

・事務局より11月24日に開催した平和の日イベント講演会のアンケート結果等について説明。

【委 員】自分は、空襲から80年という節目にふさわしい企画だったと思い、非常に評価できる。以前よりふるさと歴史館の存在を知らない方が意外と多いと思っており、存在を知ってもらうことができたというのも良かったと思う。講師が言っていたセリフの中で、1番印象に残っているのが、「記憶と記録の継承」という言葉である。記憶は誰かの頭の中にしかなく、年月が経つとその記憶も曖昧になったりするが、それを記録として置き換えて公開することで次の世代に引き継がれていくのだと思う。

参加者が100名未満ということは、反省点かなと思っており、今後は我々委員個人ができる手渡しでのチラシ配布などできる努力はやっていきたい。あとアンケートの内容を講師の方にフィードバックする予定があるか確認したい。

【委 員】参加者の人数について私としては、社会的に知名度の高い方ではなくても、100人ぐらいの方が来たことはとても良かったと思う。

講師が公文書の専門家ということもあり、私も勉強になった。例えば武蔵野中央公園が実は平和記念公園にすべきだと市議会で議題になっていたことも初めて知った。しかし非常に学ぶところがあったと同時に、ふるさと歴史館がちょうど10周年で、その10年を振り返るような内容があるのもとても良かったと思った。あと私の周りではビジュアル的にもうちょっと見せてほしかったという声もあった。

【委 員】アンケートを見る限り、とても反響が強く、皆さんに届いた講演内容になったのかなと思った。さきほども話があったが講師へのフィードバックはどの辺りまでする予定か。

【事務局】講師の方には終わった後にお礼状を送っており、そのお礼状の中にアンケートから抜粋した感想を掲載している。全文については、講師本人からの希望があった場合にお送りをしている。

- 【委員】中島飛行機武蔵製作所があそこにあったことも知らない人が多いということが分かった。
- 【委員】平和をどういう風に作っていくか若い人たちが自分のことだと思って考えてもらうことが一番いいと思った。また、ふるさと歴史館が12月14日からリニューアルするということだったので、時期的にもよかったのではないかなと思う。
- 【委員】公文書等の資料を読むことの大切さやアーカイブ、数学的な話が結構中心になっていて、非常に面白かった。普通に取り寄せたら、資料って見られるものなのだなとも思った。今まで私が委員として参加したイベントの中で1番武蔵野市にフォーカスが当たった話で、参加人数は今までよりは少なかったかもしれないが、やっぱり1年に1回ぐらい武蔵野市にちゃんとフォーカスを当てた企画をやるのがいいのではないかと個人的には思った。でも、アンケートをみて参加者の年齢で20代0名というのがとても残念だと思った。
- 【委員】中島飛行機武蔵製作所が昔あった話だが、実際にどの辺に、どのくらいの大きさの建物だったとか言われてみれば、全然知らないなと思った。どんどん失われていく記憶をどうやって、次の世代に引き継げばいいのかなと思った。あと、ふるさと歴史館も、正直、駅から少し遠いので1回か2回ぐらいしか行ったことないが、常設でそのようなものがあるのはいいと思った。武蔵野市の平和の日について多くの方がご存じないような気がしていて、もう少し触れる内容があるに関心が引けたかなと思った。
- 【副委員長】この日の会場に来ていたお客さんたちは、アンケート見る限り、中島飛行機の存在や11月24日の平和の日のことに関しては認識があると思う。僕も2年ぐらい前に吉祥寺のはなこみちでパネル展を実施している時に、係として入った事があり、立ち止まって見てくれる人に声をかけて、11月24日が武蔵野市の平和の日ってご存知かと聞いたところ、知っているのは100人ぐらい聞いて、1人か2人であった。11月24日が平和の日との説明パネルも貼ってあったが、まだ周知が不足していると感じた。

(2) 令和7年度 憲法月間記念行事について【資料2】

- ・事務局より憲法月間記念行事について説明。

- 【副委員長】まずはどういう選定の仕方をするかを話し合いたい。ジャンルとして講演会的なものがいいのか、映画のようなものがあるのか、それとも別の種類の企画がいいのかなど、ご意見があればいただきたい。
- 【委員】憲法月間なのでなるべくテーマに寄せた方がいいのかなと思う。そういう意味で言うと、推薦の中にある脚本家の方がよいのではないかなと思う。ドラマが非常に話題になりお忙しいと思うので、なかなか難しいとは思いますが、実現できたらいいと思う。もう1つは、戦後80年、被爆80年ということで、被団協がノーベル平和賞を受賞されたこともあり、被爆の問題というところに焦点を当てたものもいいのではないかなと思った。
- 【委員】資料にあるけやき会とはどのような組織なのか。
- 【事務局】正式名称は、「武蔵野市原爆被害者の会」で、今武蔵野市にお住まいで広島

や長崎で被爆を経験された方や被爆2世の方などで構成されている団体。この委員会の委員の一人が会長を務めている。

【委員】まず推薦の中にある脚本家の方に関しては、ドラマも見たが、だいぶ政治的に偏った内容だと思って、僕は受け入れられない。また、けやき会話を聞くということであれば賛成であるが、被団協に関連する企画に関しては、日本政府の方針と整合性が取れていないと感じているため集客的な面ではいいのかもしれないが、賛成はできない。

【副委員長】脚本家のドラマについて何がどのように偏っていると感じたのか、具体的に教えていただきたい。

【委員】リベラルと呼ばれているその政治政党や団体が推し進めているLGBTの問題や夫婦別姓の話などがあったかと思う。

【委員】さきほど別の委員が言っていたけやき会の方向性だったら許容ができそうというお話に関連するが、けやき会も被団協に所属している地元の団体だと思うが、被団協にはちょっと賛同できないけれどけやき会なら大丈夫そうだと感じた気持ちをもう少し教えてほしい。

【委員】被団協の方針が間違っているのであれば、確かにけやき会にもお願いしないというのが筋が通っているのかもしれないが、私は、色々なイデオロギーを乗り越えて、分かり合える部分は分かり合っていきたいなという風に常々思っている。けやき会の話であれば、同じ武蔵野市に住む市民として話を聞きたいという気持ちがある。

【委員】武蔵野憲法月間記念行事なので、憲法の話をやってもいいのかなというのが個人的な所感である。イデオロギーはどう頑張ってもすり合わせるの難しいので、目的次第かと感じた。

【委員】私も憲法月間に合わせた憲法にまつわる企画をといるところは賛成である。私はたまたま先ほど話にでた脚本家のドラマが人気がありそうで、タイムリーかなという風には思っている。

【委員】自分が推薦する人物を挙げていないのに文句を言うような形で申し訳ないが、この講師は選んでほしくないという方が何名かいる。

【委員】事務局に確認であるが、本日はどこまで決める必要があるか。

【事務局】憲法月間記念行事で何をやるかそのテーマを決めてほしいということが1点。また、交渉があるので、講演会となった場合には、その講師の先生にあたる優先順位を第1、第2、第3まで決定してほしい。あと1点補足すると、前回の会議でもご説明したが、この資料2の1ページ目、2ページ目の方が委員の皆様からのご提案で、元々委員の皆様からのご提案が少なかったのが、事務局として出したのが3ページ目となっている。最終ページは、事務局推薦ではなく、委員の皆さんから前年までのアンケート結果から希望のある方も入れてほしいという意見があったので、入れさせていただいたものである。

【委員】他の委員から憲法月間だから憲法らしい講演をといることを聞いて、私も同感するところがある。提案として、絵本などで憲法の価値観を広げていく取り組みはどうか。

【副委員長】絵本の朗読みたいな形というのも1つのやり方だとは思いますが、今ここに候補のない中からもう一度練り直すっていうと、時間的に厳しいと思う。どちらかと言えばもう現時点の候補の中から選択していく方が良いと思う。

【副委員長】今ある資料の中から選んでいくということで、ご依存のある方がいないようであれば、この中から、選ぶようなことでよいか。

→異議なし

→参加委員の中での投票と欠席委員のご意見を踏まえて優先順位を決定

(4) その他

- ・第12回平和首長会議国内加盟都市会議総会について

1月16日(木)、17日(金)に本市を会場として開催。

市長から市のこれまでの平和事業の取組みを発表し、毎年実行委員会で実施しているパネル展を行う予定。また、市民の戦争体験として、今まで作成した平和啓発用映像の中から実行委員のインタビュー映像も上映予定。

- ・次回の委員会は、1月24日(金)午後6時15分～かたらいの道市民スペースで開催する。

3 閉会